

平成23年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 音楽 (1/1 枚目)

調査の観点	発行者名 東京書籍	教育出版	教育芸術社
<p>1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。</p>	<p>(1) ・「オーラ・リー」が現行の教科書では第4学年だが、リコーダーの臨時記号をまとめて指導するための教材として第6学年の初めの方に入っている。そのため、発達段階に合っていない。 ・合奏等選曲や編曲が難しく発達段階への配慮が足りない。 ・手あそび歌等が多く掲載されている。 (2) 各学年のねらいを押さえられる、よい教材が少ない。 (3) 目次が曲名だけのものもあり、ねらいが分かりにくい。 (4) 昔の曲が羅列されており、全体に系統的に作られていない。</p>	<p>(1) 教材の右肩に共通事項が書かれており、見直しをもって学習することができる。 (2) 目次が詳しく分かりやすい。 (3) 第1学年、鍵盤ハーモニカの大きな写真が分かりやすい。 (4) ・「星のおんがくをつくろう」等創作教材が充実している。 ・拍の表記にハートやダイヤモンドマークを使っているのは分かりにくい。 ・小沢征爾のメッセージがよい。他社が音楽愛好家であることに比べ、音楽家のメッセージであることがよい。 ・第6学年「運命」にスコアが載っており興味深い。</p>	<p>(1) オーケストラの解説が第5学年から第6学年に変わり、指導に適している。 (2) ・目次が詳しく分かりやすい。 ・「こころのうた」がクローズアップされている。 (3) ・第1学年、鍵盤ハーモニカの導入の「どんぐり」と「そらまめ」を使った解説が分かりやすく、指導もしやすい。 ・第3学年、リコーダーの導入の資料が分かりやすい。 ・教材の説明が多く、児童が自分の考えを狭めてしまう可能性がある。 (4) 第1学年、鍵盤ハーモニカの「ゆびのたいそう」は工夫されており、指導に適している。</p>
<p>2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。</p>	<p>(1) ・「君が代」が折り込みがあり、リコーダーの運指や記号のまとめの表と表裏になっており、まとめの表は見やすいが、切れやすいのではないかと。 ・楽曲が系統的に配列されていない。 (2) 全学年通して合奏教材が少ない。鑑賞教材の中で、和楽器の資料が少ない。 (3) 補充教材、発展教材共に少ない。基礎と発展の系統性を持たせる配慮がない。</p>	<p>(1) 補充教材や難易度が高い資料が充実している。 (2) 他社にはない、低学年から簡単な合奏が取り入れられていてよい。 (3) 基礎・基本を押さえ、創作等の発展教材にも配慮している。</p>	<p>(1) 第4学年「さくら」の配列が変わり、開花の時期に合わせて扱いやすくなった。 (2) 分量も適当であり、発達段階を十分に配慮している。 (3) 的確で分かりやすい。基礎・基本を押さえられているので適当である。</p>
<p>3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。</p>	<p>(1) 高学年の合奏の楽譜の音譜が細かくて見づらい。 (2) 季節の歌の挿絵が日本画で美しいが、児童には難し過ぎて興味をもてないのではないかと。</p>	<p>(1) ・第3学年リコーダーの、タンギングを指導するための譜表に隙間があり、ノンレガートという意味と解釈できるが、休符のように見えて指導しづらい。 ・リコーダーの運指表が見づらい。 (2) ・大きな鍵盤ハーモニカの写真が、見やすく指導しやすい。 ・写真や挿絵が美しいが、「こいのぼり」等、余計に掲載しているものもある。</p>	<p>(1) リコーダーの運指表が見やすい。 (2) ・第1学年のリズム学習で、しろくまのマフラー等、挿絵を利用して楽しく学習することができる。 ・鑑賞教材の資料が金管・木管・弦のいずれも写真が分かりやすく充実している。 ・資料の挿絵や写真が歌詞の内容に合っている。色彩も落ち着いていてよい。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮している。 (4) 地域性に対して配慮している。</p>	<p>(1) 目次が簡単で配列の系統性がない。 (2) 課題発見、課題解決を考慮した音楽づくりの教材が配列されている。 (3) 使いやすい落ち着いた装丁である。 (4) 地域性に対する配慮は特に見られない</p>	<p>(1) ・説明の分量が増えて文字数が増え、A B版になっている。 ・ページによっては楽譜が間延びしている印象がある。 ・縦書きのお話や歌詞の表現には適している。 (2) 課題発見、課題解決を考慮した音楽づくりの教材が配列されている。 (3) 教科書の途中ページの折込みは、内容的意味が感じられない。 (4) 地域性に対する配慮は特に見られない</p>	<p>(1) 説明の分量が増えて文字数が増え、A B版になったことで、ページによっては楽譜が間延びしている印象があるが、縦書きのお話や歌詞の表現には適している。 (2) 課題発見、課題解決を考慮した音楽づくりの教材が配列されている。 (3) ・糸綴りでページが開きやすく見やすくなった。 ・リコーダーの運指表が折込みになっていないので同時に見ることができないのは、不便である。 (4) 地域性に対する配慮は特に見られない。</p>
<p>5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1) ・全体的に曲数も少なく、基礎から発展まで使用するには使にくい。 ・「総合的な学習の時間」の学習とリンクできる教材が工夫されている。 (2) 大きさが現行の教科書と同じで扱いやすい。</p>	<p>(1) ・楽曲数が多く選曲しやすい。 ・児童が取り組みたいという意欲を高める教材が多い。 ・教科書の中に書き込みができる欄があり、鑑賞指導に活用できるが、紙質が書きにくく、消しにくい。 ・「総合的な学習の時間」の学習とリンクできる教材が工夫されている。 (2) 補助教材や資料が多く難易度が高いものも含まれているので、選択肢が広がるという意味ではよい。</p>	<p>(1) ・基礎から着実に身に付けていけるよう、配慮された教科書である。 ・糸綴りでページが開きやすく見やすくなった。 ・教科書の中に書き込みができる欄があり、鑑賞指導の際に活用できる。紙質も、鉛筆で書きやすく消ししやすい。 ・「総合的な学習の時間」の学習とリンクできる教材が工夫されている。 (2) ・「海風きって」の旋律づくりの表が分かりやすく改善された。 ・第5学年と第6学年の鑑賞教材の内容が入れ替わった。同社の教科書を使用する場合、指導内容を移行期に調整する必要がある。</p>